

# 石狩を楽しむ

ISHIKARI  
DIGITAL MAP

観光デジタルマップ  
市内の観光名所や飲食店などの  
観光情報を手軽に探せる市オリ  
ジナルマップです。

☎ 72-3167 (商工労働観光課)



▲特設ページ

## 道の駅石狩 「あいそど厚田」

2018(平成30)年4月27日オープン。  
海原を進む船をイメージした3階建ての  
建物です。目の前には日本海が広がり、  
地域自慢の素晴らしい夕日一望できる  
展望デッキがあります。特産品の販売は  
もちろん、友好都市である石川県輪島  
市、沖縄県恩納村の名産品も取り扱っ  
ているほか、地域の農産物・海産物を使用  
した飲食テナントや、景色を楽しみなが  
ら飲食できる休憩スペースもあります。

2階には郷土資料コーナーがあり、厚  
田区出身の著名人「佐藤松太郎」「子母澤  
寛」「吉葉山潤之輔」「戸田城聖」の紹介  
と、縁のある品を展示しています。ニシ  
ン漁と北前船を再現したジオラマは見応  
え十分です。こども広場にはふわふわ  
ドームもあり、世代を問わず楽しめる道  
の駅です。

☎ 厚田区厚田 98-2  
☎ 78-2300 (榎あい風)



## 石狩市三大秋祭り

「石狩市三大秋祭り」とは、毎年サケが旬な秋に、市内三地区で開催さ  
れる「石狩さけまつり」「厚田ふるさとあきあじ祭り」「浜益ふるさと祭り」  
のことで、旬の食材や各地域の伝統などが楽しめる、魅力がたくさん詰  
まったお祭りです。「サケの街 石狩」の歴史とともに歩んできた伝統的な  
お祭りで、広く「サケの文化」を発信しています。

### 石狩さけまつり

1956(昭和31)年に始まった歴史あ  
るお祭りです。超特大の鍋で作る石狩  
鍋「千人鍋」は行列ができるほど大人気。

☎ 9月下旬の2日間  
☎ 弁天歴史通り一帯(弁天町1-1)  
☎ 62-4611  
(一社)石狩観光協会



### 厚田ふるさとあきあじ祭り



### 浜益ふるさと祭り



海の幸、山の幸などの厚田のふ  
るさとの味を堪能できます。直売  
や「アキアジの重さ当てクイズ」「宝  
引き」なども開催。

☎ 9月23日(秋分の日)  
☎ 望来コメセン「みなくる」  
(厚田区望来27-7)  
☎ 62-4611  
(一社)石狩観光協会

浜益自慢の農水畜産物を一同に  
集結し販売。「沖揚げ音頭」「浜益豊  
漁太鼓」などの郷土芸能も披露され  
ます。

☎ 9月中旬  
☎ 海浜公園イベント会場(浜益区川下)  
☎ 62-4611  
(一社)石狩観光協会

## 厚田キャンプ場

森に囲まれ近くに小川が流れる自然豊  
かなキャンプ場です。広々とした場内には  
炊事場や水洗トイレ、バーベキュー、遊具  
などの施設が整っています。

場内を流れる牧佐内川では、9月中旬  
から10月中旬までサケの遡上が見られ、  
手の届く距離で観察することができます。

☎ 4月29日~10月31日  
☎ 9時~17時  
☎ 厚田区厚田 120  
(あいそどパーク内)  
☎ 78-2100(開場期間中のみ)



予約はこちらから▶



## 海水浴場

7月上旬から8月中旬  
まで開設。期間中はライ  
フセーバーが配置される  
安心・安全な海水浴場です。

### 石狩浜海水浴場(あそびーち石狩)

バーベキュー  
やキャンプがで  
きるエリアも  
あります。

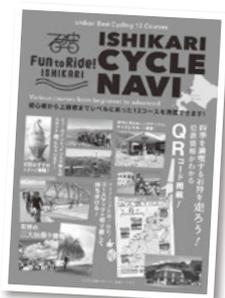
☎ 弁天町地先  
☎ 62-5554  
(管理事務所)



## サイクリング MAP

石狩市は、日本海、石狩川、暑寒別天売焼  
尻国定公園などの雄大な自然に恵まれ、南北  
約70kmに広がるまちです。海・山・川の大自  
然を眺めながらサイクリングをしませんか。  
初級から最上級までサイクリングコース12  
コースをご紹介します。サイクリング  
MAPは市HPまたは主要観光施設に置いてい  
ます。

☎ 78-2012(北石狩地域観光まちづくり協議会 厚田支所地域振興課内)



### 厚田海浜プール

消波ブロックで波は穏やか。  
小さな子どもも安心して遊べます。

☎ 厚田区厚田  
☎ 78-2500(管理事務所)



### 川下海水浴場 (はまますピリカ・ビーチ)

隣接した公園の芝生ではキャン  
プも楽しめます。

☎ 浜益区川下  
☎ 79-2222(管理事務所)



# 石狩の歴史に触れる

石狩市は、17世紀の初頭の慶長時代、松前藩が石狩場所を設けたことを機に、サケの交易で大いににぎわいました。本町地区には、今でもその歴史の面影を残すものがあります。

☎ 62-4611 ((一社) 石狩観光協会)



## 弁天歴史公園

サケ漁で栄えてきた石狩のシンボルとして、弁天歴史通り一帯に作られた公園。園内には、旧石狩医院の和室を再現した楽山居、アイヌとの交易所を模した運上屋棟、石狩の礎を築いた先人たちをたたえる碑などがあります。



## 観光ガイドボランティア

弁天歴史公園の運上屋棟では、4月29日から11月3日までの土・日曜、祝日に「いしかりガイドボランティアの会」が、サケ漁で発展した本町地区の歴史や文化、自然などをテーマに無料で観光案内をしています。そのほか、興味のあるテーマに応じた有料ガイドツアーも実施しています。



## 石狩弁天社

1694(元禄7)年創立、サケの豊漁を願って建立された300年の歴史を誇る市内最古の建物。代々の石狩場所請負人などによって信仰され、かつては河口を向いて現在の八幡神社の場所にありましたが、1874(明治7)年に現在の場所に移転しました。八幡神社にある鳥居は、もともと弁天社に奉納されたもので、「海上安全」の文字が刻まれています。主神は弁天様のほかに、石狩川の主(チョウザメ)を神格化した「妙亀法鮫大明神」、通称「鮫様」が祭られています。



## 石狩市の日本遺産

北前船の寄港地を一体的にとらえ、港町同士の文化交流や、大きな富を生んだ北前船のストーリーを示した日本遺産「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に、石狩市を含む全国の49市町が認定されています。

「北前船」とは、江戸時代中期～明治30年代に、大阪と北海道を日本海回りで商品売り買いしながら結んでいた商船の総称です。石狩市にも肥料「ニシン粕」を求めて寄港する一方で、生活物資などをもたらしたほか、さまざまな影響を残しました。石狩市は、8つの構成文化財が認定されています。

### 旧長野商店

北前船で財をなした新潟出身の長野徳太郎が1874(明治7)年に創業した。



### 割烹 金大亭

北前船の船主や商人が利用したとされる1880(明治13)年創業のサケマス料理専門店。



## 石狩灯台とレンズ

石狩灯台は1892(明治25)年に初代の灯台が点灯した、道内で現存する最も古い灯台です。

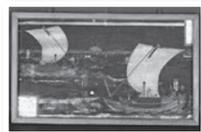
はまなすの丘公園ヴィジターセンターでは、100年以上前に使用されていた灯台のレンズ2点が展示されています。



☎ 62-4611 ((一社) 石狩観光協会)

### 厚田神社の船絵馬

明治中期ごろ、北前船の船主らが奉納したとされる。



### 古潭神社の神輿

北前船「久吉丸」の船主が1881(明治14)年に奉納したとされる。



## 史跡 荘内藩ハママシケ陣屋跡

1859(安政6)年、幕府は蝦夷地を奥州6藩に分け与え、その警備を命じました。

翌1860(万延元)年、家老松平舎人を総奉行として現地調査を行い、この調査を基に二代目総奉行酒井玄蕃(了明)が赴任し、警備・開拓の本陣を「ハママシケ」(浜益)に設けたのがこの場所で、陣屋内には奉行所をはじめ、寺、神社、長屋などを建て、集落が作られました。その後戊辰戦争が勃発して事態が変わり、1868(慶応4)年には引き揚げ作業が始まり、7年におよぶ年月と莫大な費用をかけた荘内藩蝦夷地押領地の警備・開拓は終わりました。

陣屋跡は今も川下八幡神社横に残り、1988(昭和63)年5月に国指定の史跡となりました。

2021(令和3)年に老朽化した大手門が建て替えられました。指定地内には、建物跡を示す案内看板があります。(指定面積: 167,809m<sup>2</sup>)



☎ 所 浜益区川下 ☎ 79-2114(浜益生涯学習館)



## 北海道遺産

北海道遺産とは次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、北海道民全体の宝物として選ばれたものです。石狩市に関するものでは、「石狩川」(平成13年)、「サケの文化」(平成16年)に続き、平成30年に「増毛山道と濃屋山道」が認定されました。



増毛山道



濃屋山道



## こがやま 黄金山のイチイ

推定樹齢1500年のイチイの巨木です。2000(平成12)年環境庁「巨樹・巨木林調査」でイチイの部全国第18位、道内5位に認定されました。



☎ 所 黄金山登山口に向かう林道付近 ☎ 79-5700((一社) 石狩観光協会 浜益事務所)